

# 公益財団法人 JFE21 世紀財団 2023 年度 アジア歴史研究助成 募集要項

## 1. 助成対象となる研究

### 「21 世紀アジアと共存共栄するための、日本の産業と文化の Vision 構築に資するアジア歴史研究」

アジアの各地域はいずれもきわめて複雑な歴史をたどってきた。その結果として今日の政治、経済、社会、文化状況がある。本研究助成は、歴史的経緯を踏まえながら現況を直視し、未来を考える研究を対象とする。また、アジア各地域と日本の関係についての歴史と記憶の研究も含む。なお、研究対象地域は下記の範囲とする。

北・東アジア(日本、朝鮮半島、中国、モンゴル、ロシアの一部)、東南アジア、インド亜大陸～西アジア(中近東)、中央アジア～カフカス地域

\* 実質的に既に完了している研究や、特定機関からの委託研究は対象外とする。

\* 上記条件に該当しない応募は、事務局判断で審査委員会に上申しない場合もある。

\* 助成研究は公開を前提とする。本財団にて助成研究報告書を発行し、本財団ホームページ(HP)で公開する。

## 2. 助成件数と助成金額

12 件(原則)、1 件あたり 150 万円、総額 1,800 万円

\* 助成金は代表研究者の所属する大学・研究機関に交付(指定銀行口座に 2023 年 12 月に振込)

\* 助成金の使途は、参考書籍・文書購入費、設備・備品費、学会・調査旅費、研究補助者謝金等で、研究室運営費、学会等開催費、論文印刷・書籍刊行費などは不可とする。

## 3. 研究期間 原則 1 年間 (2024 年 1 月研究開始、同年 12 月終了、2025 年 1 月報告書提出) 但し、1 年間に上限として延長を可とする。(その場合 2026 年 1 月報告書提出)

## 4. 応募資格

日本の国公立大学または公的研究機関に勤務(常勤)する研究者であって国籍は問わない。なおグループでの研究の場合、代表研究者以外の共同研究者は 3 名以内で、大学院生および外国の大学、日本の他の大学や公的研究機関に所属する研究者も可とする。2020～2022 年度の本研究助成を代表研究者として受領した者は、今回は代表研究者としての応募はできない。

## 5. 申請の手続き

本財団 HP の申請様式に記入し、HP 内の申請画面から財団に送信する。

財団 HP <http://www.jfe-21st-cf.or.jp/> 受付開始 4 月 17 日(月) : 締切 6 月 26 日(月)

\* 記入と送信の要領は申請画面に掲載、電子申請につき郵送は不可とする。

## 6. 審査・選考と助成研究(者)の公表

本財団委嘱の審査委員会による審査・選考を経て本財団理事長が決定し、9 月末に応募者に結果を通知の後、本財団 HP 等で公表する。

審査委員長 梅村 坦 (中央大学名誉教授)  
審査委員 菊池 秀明 (国際基督教大学教養学部 教授)  
澁谷 鎮明 (中部大学国際関係学部 教授)  
保坂 俊司 (中央大学国際情報学部 教授)

## 7. 助成受領研究者の義務と条件等

- (1) 助成受領者は、本財団と「アジア歴史研究助成覚書」を交換
- (2) 助成金の受領手続き(本財団所定の寄付申請書により大学・研究機関事務部に手続きを依頼)
- (3) 贈呈式への代表研究者の出席(東京に於いて 12 月 6 日(水)開催予定、出席費用は本財団負担)
- (4) 研究終了後、研究成果報告書(公開前提)と会計報告書を提出
- (5) 研究論文等において本財団から助成があった旨を記載すること

以上